

令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する	66.2	「思考・判断・表現」のうち、文章の読解（心情理解・表現技法・場面の展開の読み取りなど）については正答率が平均値より高い傾向にあった。長文の読解について表現や語句に注目し粘り強く読むことを重ねてきたことをこれからも続けていく。	「思考・判断・表現」のうち、表現することが、平均値より低い傾向が見られる。読み取った情報を整理し、形を整えて書くこと、また、効果的に伝えるうえで何が必要かを意識して表現することに力を入れて指導していく。
	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	43.4		
	文脈に即して漢字を正しく書く	76.6		
	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する	80.0		
算数・数学	素因数分解をする	40.0	無解答率が0%の問題もいくつかあり、問題に取り組もうとする姿勢が見られた。「データの活用」については、全国・東京都と比べて正答率が高かった。	全国・東京都と比べて、解答は埋めてあるが正解をしていない問題が目立った。理解しているつもりになっている可能性が高いと考えられる。また、「数と式」「図形」「関数」については正答率が低かったので、基礎・基本の徹底をしていくべきである。
	1次関数の変化の割合の意味	28.3		
	連立二元一次方程式を解く	64.8		
	ヒストグラムからデータを読み取る	42.8		
理科	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	33.1	「思考・判断・表現」の問題や、記述式の形式に対する本校の正答率が平均値より高い傾向にあった。実験を主体とした授業を中心に、2年間かけて重点的に育成してきた成果と考えられる。	「知識・技能」に関する問題に対しての本校の正答率が平均値より低い傾向にあった。今後、復習、確認によって基礎・基本の定着を図ることが課題となった。
	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	71.7		
	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	41.4		
	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	29.0		